

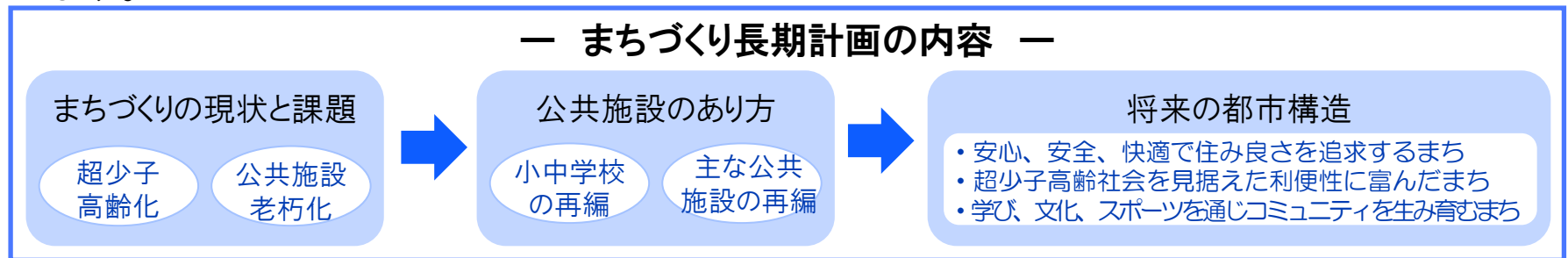
# 四條畷市まちづくり長期計画(教育施設を含む) 策定に向けた経過報告会

説明資料

# 経緯と経過報告会の趣旨

## ① 検討の背景

- 四條畷市は、今後の超少子高齢・人口減少社会と公共施設老朽化の現状を踏まえ、2050年を目標年次とする長期的な視点でのまちづくり構想(四條畷市まちづくり長期計画)を取りまとめることとしています。



## ② まちづくり意見交換会の開催

- まちづくり長期計画の策定にあたり、多くの市民の方のご意見をお聞きするため、今年9月から10月にかけて、意見交換会を8回開催し、延べ230人の参加をいただきました。

| 第1回                    | 第2回                    | 第3回                      | 第4回                      | 第5回                    | 第6回                    | 第7回                     | 第8回                     |
|------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 9月21日<br>(日)<br>14:00～ | 9月21日<br>(日)<br>19:00～ | 9月23日<br>(火・祝)<br>14:00～ | 9月23日<br>(火・祝)<br>19:00～ | 10月2日<br>(木)<br>19:00～ | 10月9日<br>(木)<br>19:00～ | 10月15日<br>(水)<br>19:00～ | 10月18日<br>(土)<br>14:00～ |

## ③ 経過報告会 開催の趣旨

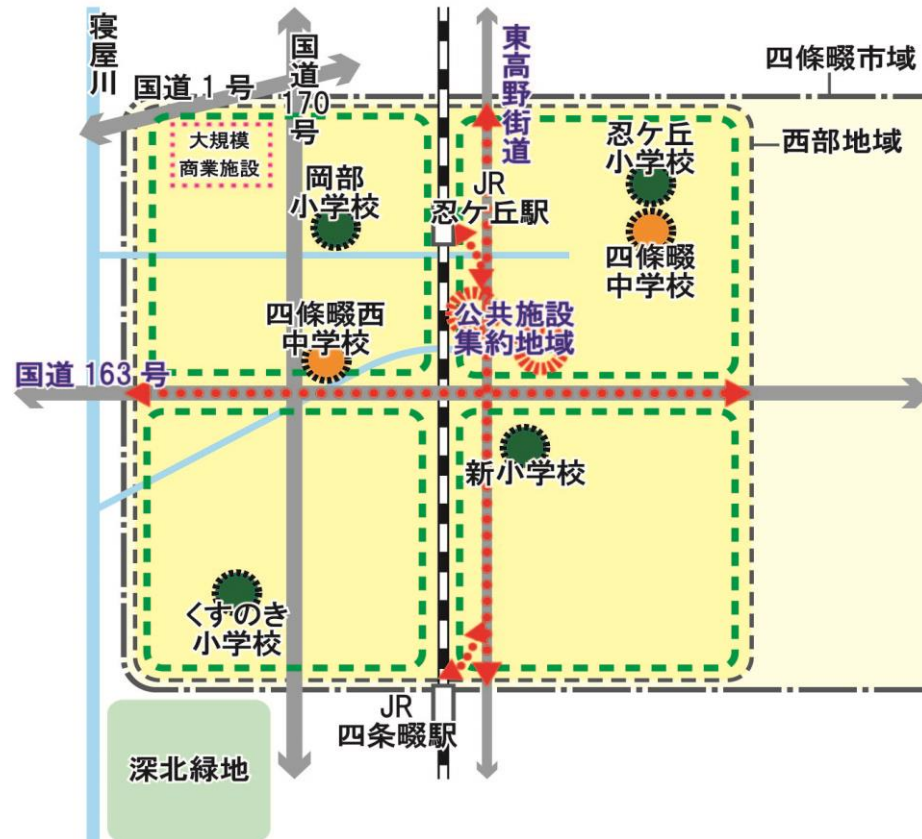
- まちづくり意見交換会でいただいたご意見を踏まえ、市の考え方をお伝えする場を設けました。

# 四條畷市まちづくり長期計画（教育施設を含む） 策定に向けたまちづくり

## まちづくり長期計画の検討内容 I

2050年を到達点とするまちづくりの計画を策定します。

計画は、地域別の土地利用の方向性と、その実現に向けた都市機能配置の方針を定めます。



### 西部地域の都市構造イメージ

各小学校区を中心にそれぞれの地域特性を活かしたまちづくり

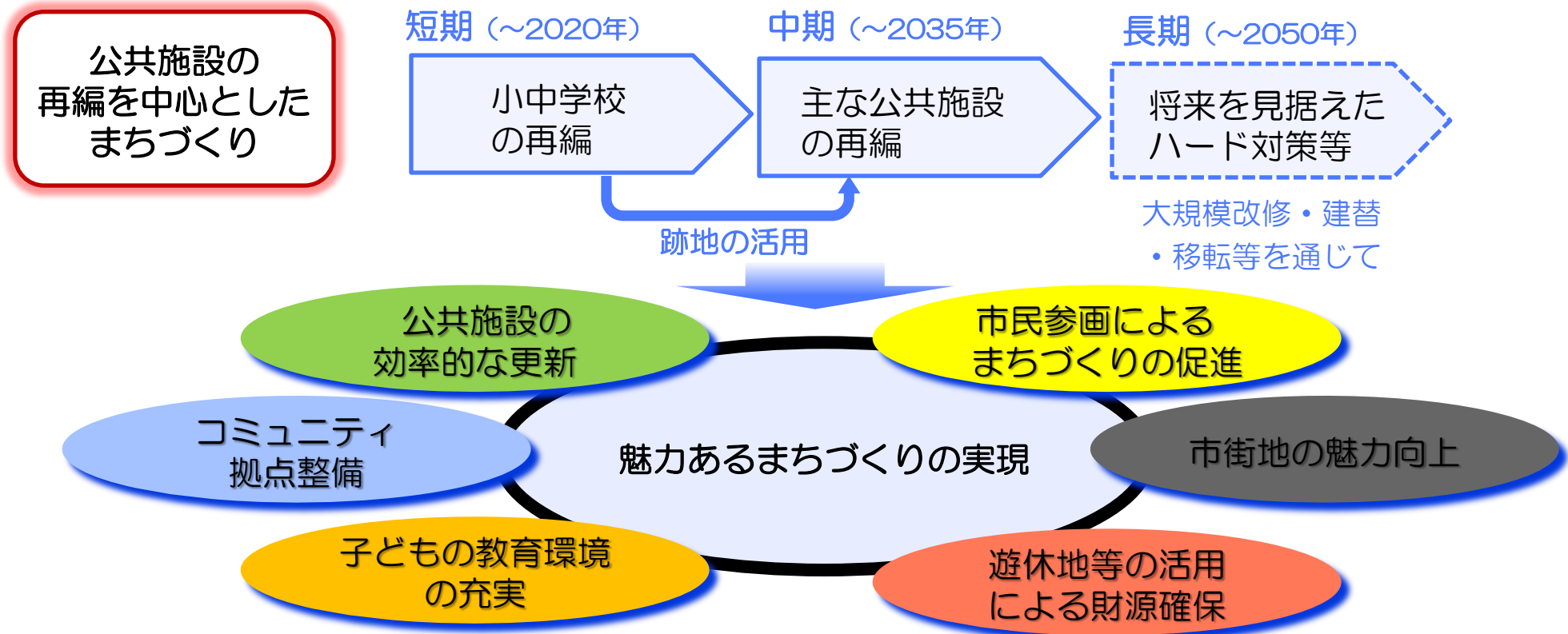
国道163号（広域緊急交通路）と東高野街道（地域緊急交通路）を基軸に公共施設を集約

各小中学校を地域のコミュニティ防災拠点として整備

# 四條畷市まちづくり長期計画（教育施設を含む） 策定に向けたまちづくり

## まちづくり長期計画の検討内容 II

これからのまちづくりを進めるにあたり、まず小中学校の再編を行い、それにより生じた跡地を利用した公共施設全体の再編方針を取りまとめます。この再編を通じて、限られた財源で市民にとって魅力あるまちづくりを進めます。



## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

## ① 学校再編する理由(学校数の減少)・小規模校解消の必要性について

## 【意見】

・学校数を減らさなくても良いのではないか。小規模校を解消する必要があるのか。

## &lt;市としての考え方&gt;

## ◎西部地域を4分割し、それぞれにコミュニティ拠点となる小学校を配置します。

- ・小学校単位による特色あるコミュニティ形成が進む。
- ・超少子高齢社会に備えたコミュニティ規模の再構築を検討する。

## ◎適正規模校(12学級～18学級)では以下のメリットが考えられます。

- ・たくさんの友だちの多様な考えにふれ、その中で自己表現する力が育つ。
- ・クラス替えができることが、友だち関係等でつらい思いをした児童にとって、リセットのチャンスとなる。
- ・中学校卒業後の進路・進学先は大集団であることが多く、義務教育修了後の生活へスムーズに移行できる。
- ・柔軟な指導形態が可能になるとともに、多彩なクラブ活動の展開が可能となる。



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

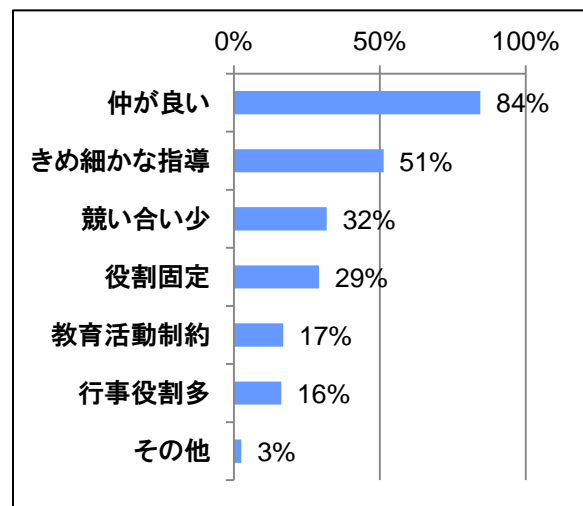
## ◎小学校での状況や中学校への期待についてアンケートを実施しました。

- ・一定の期間、小規模校(11学級以下)の状況が続いている四條畷南小学校、四條畷東小学校の児童、保護者、教職員を対象にアンケートを実施しました。

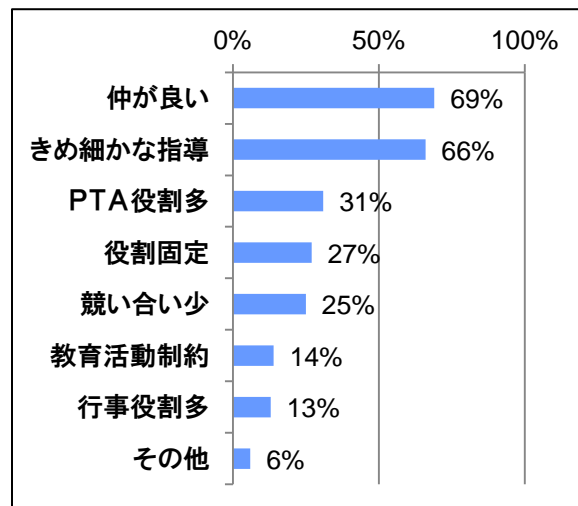
### 実施概要

- ・対象：四條畷南小学校、四條畷東小学校の児童(5・6年生)、保護者、教職員
- ・方法：学校を通じて児童、教職員に配布・回収
- ・時期：平成26年11月18日～21日
- ・回答数：児童(5・6年生)154人/159人、保護者319人/473人、教職員37人/40人

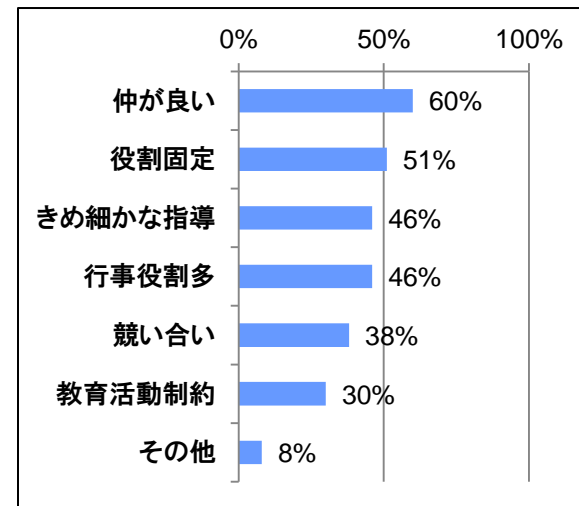
### 小規模校で感じること



児童



保護者

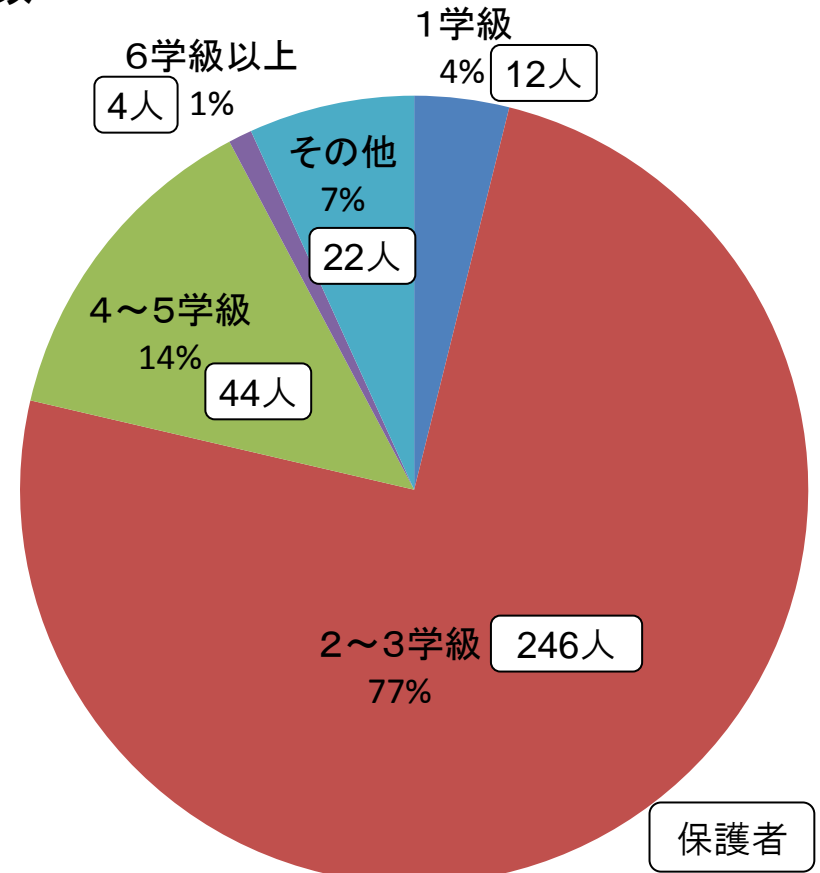
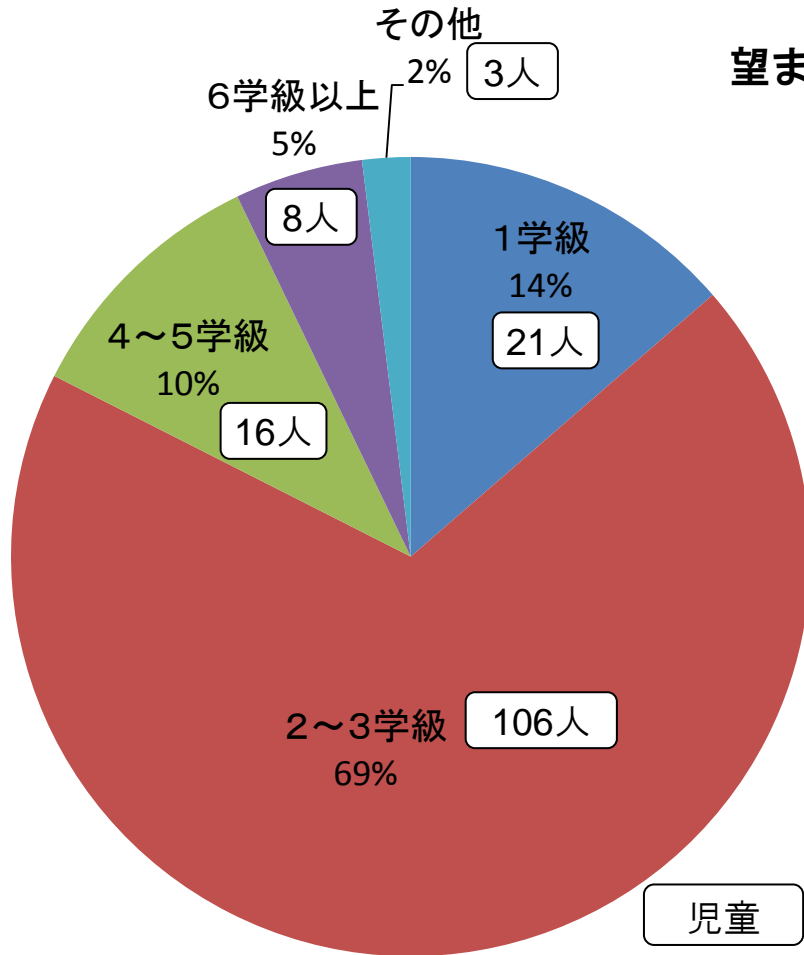


教職員

# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

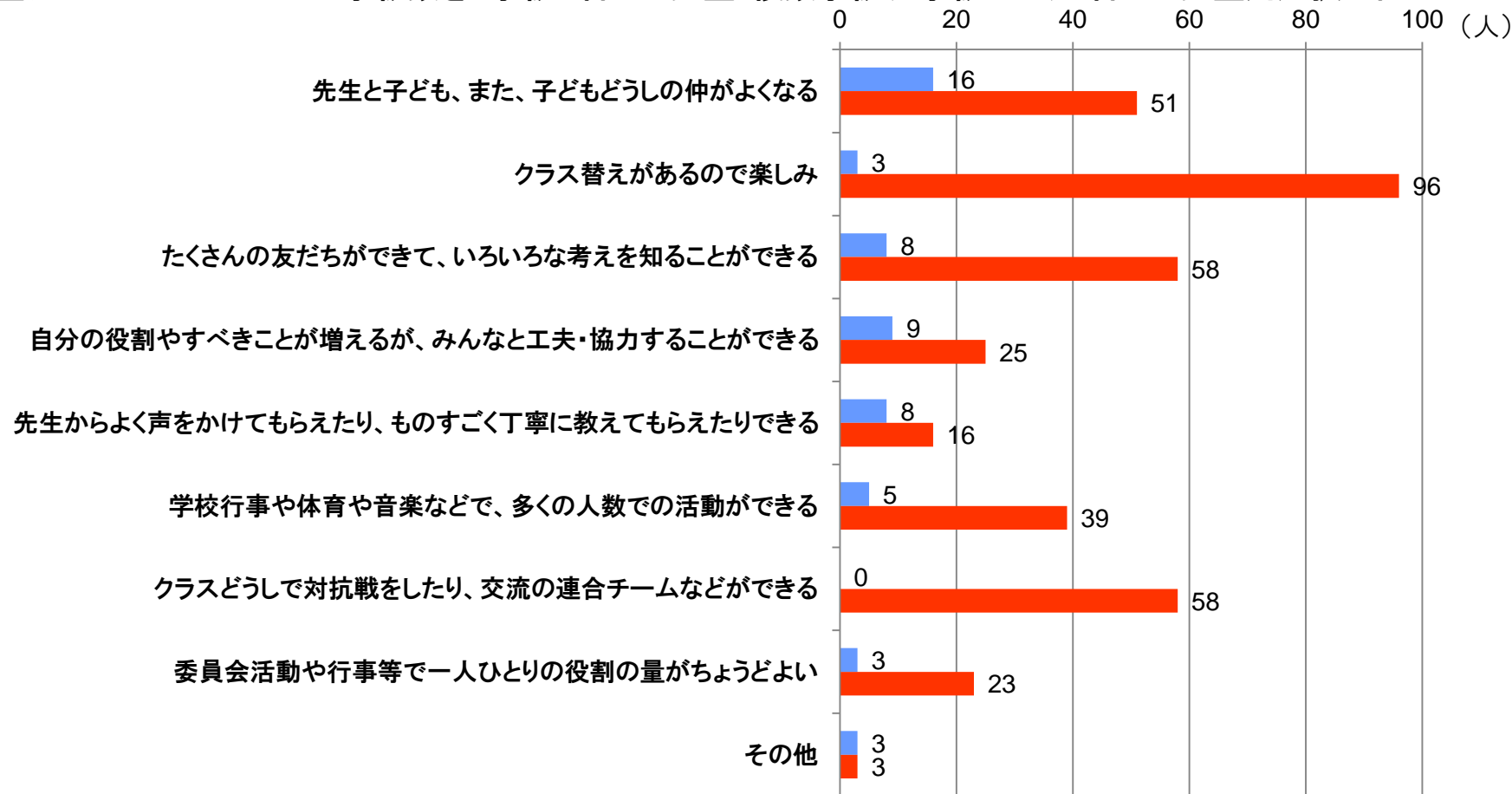
### 望ましい学級数



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

【参考】 児童アンケート : 望ましい学級数を1学級と答えた児童・複数学級(2学級以上)と答えた児童別選択理由



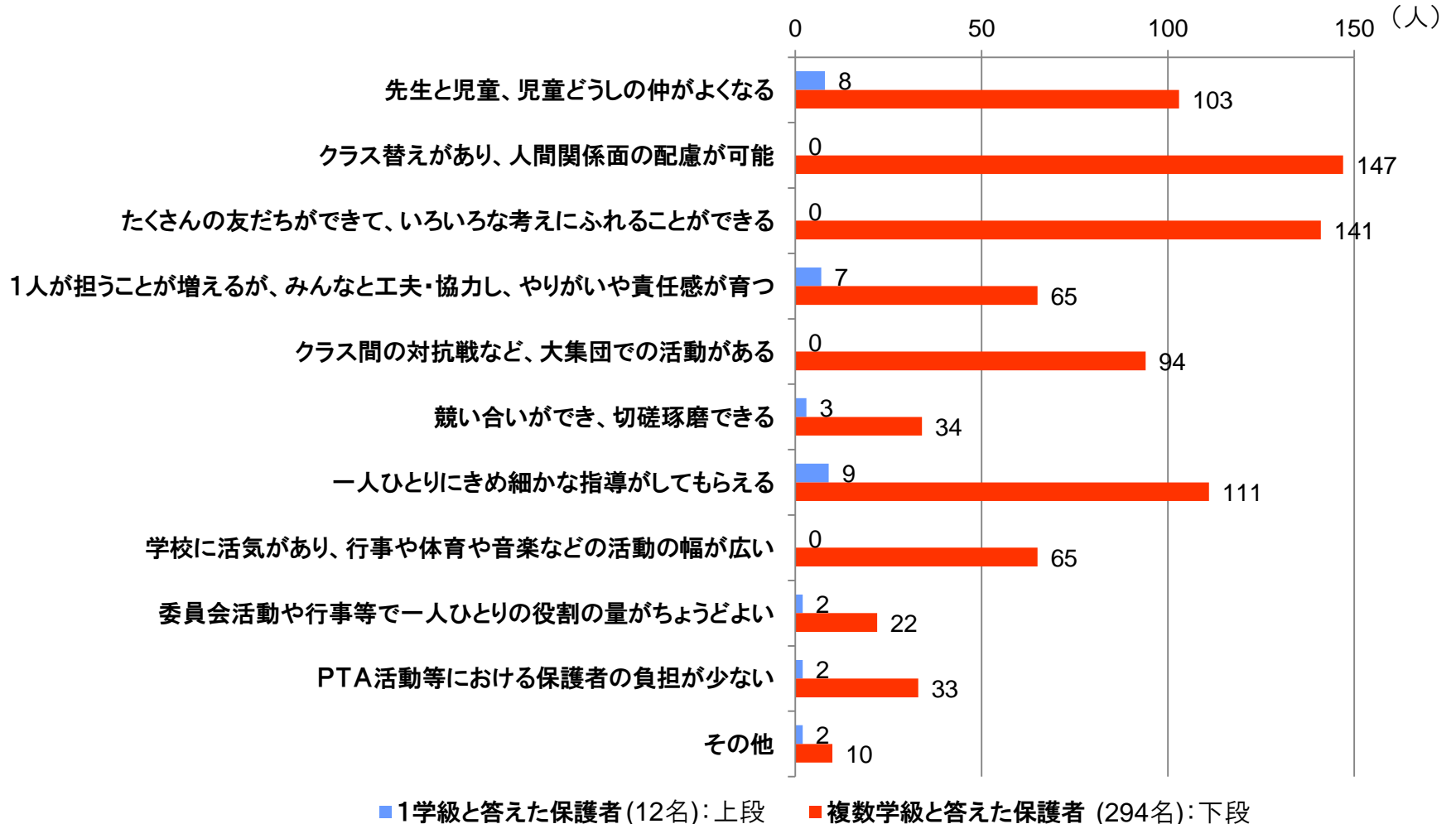
■ 1学級と答えた児童(21名): 上段    ■ 複数学級と答えた児童(130名): 下段



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

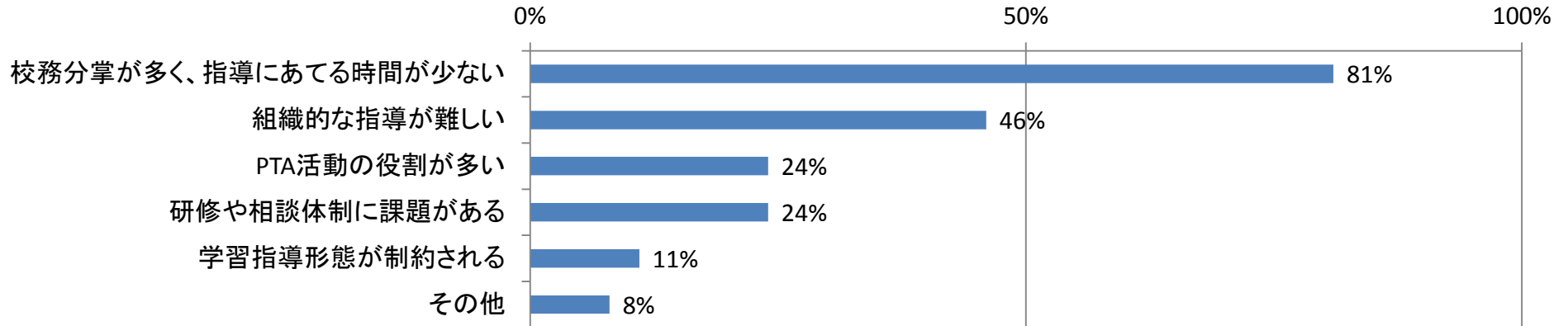
【参考】 保護者アンケート： 望ましい学級数を1学級と答えた保護者・複数学級(2学級以上)と答えた保護者別選択理由



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

【参考】教職員アンケート：教職員として小規模校に感じる事



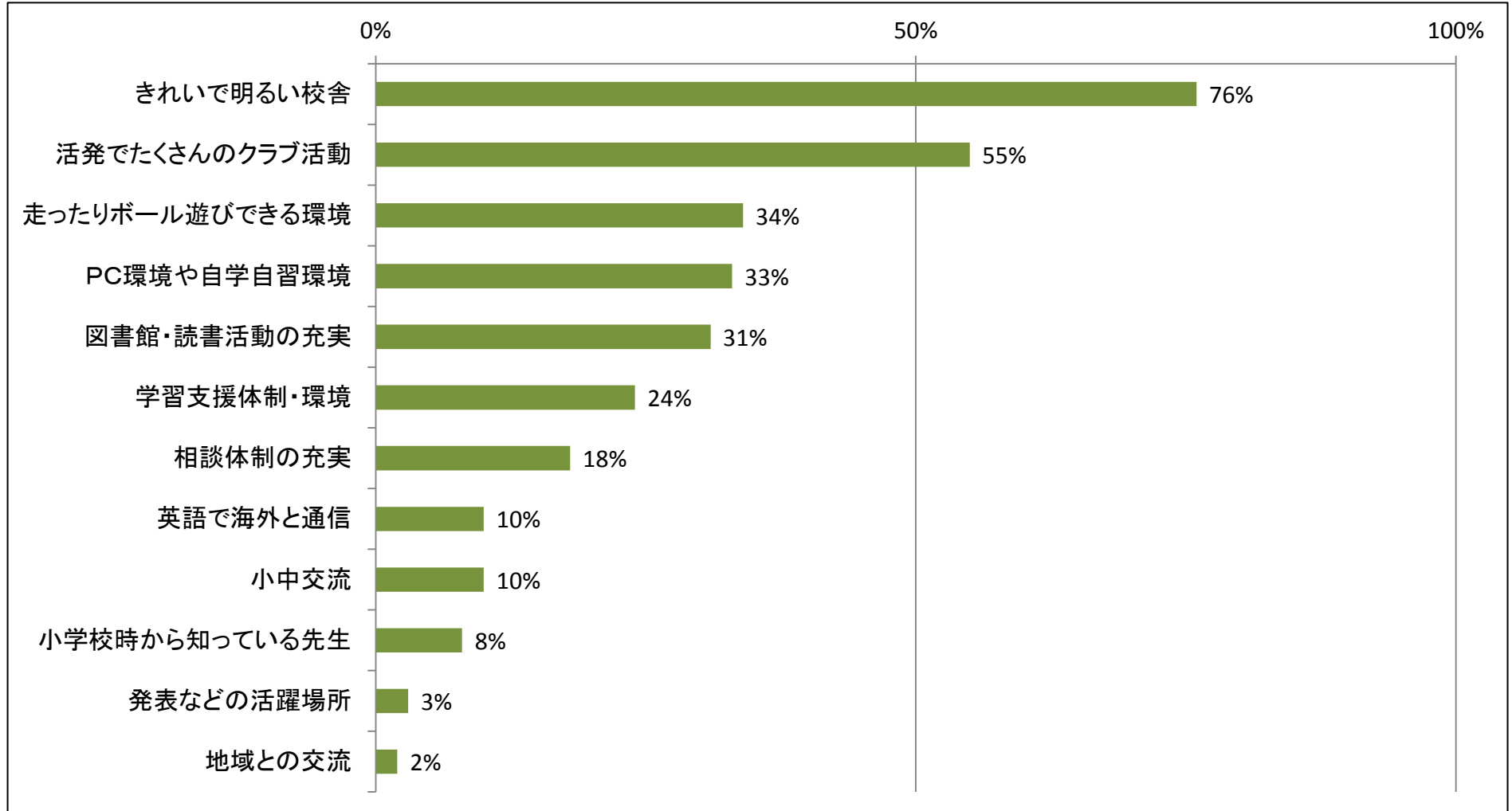
【参考】教職員アンケート：複数学級が望ましいと思う理由



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

【参考】 児童アンケート : どんな中学校だといいなと思うか



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

## ② 再編後の学校数

### 【意見】

・再編により小学校は2校減ることになるが、なぜ1校ではないのか。

### <市としての考え方>

### ◎5～6年後から一世代先まで見通しつつ、あるべき姿を考えます。

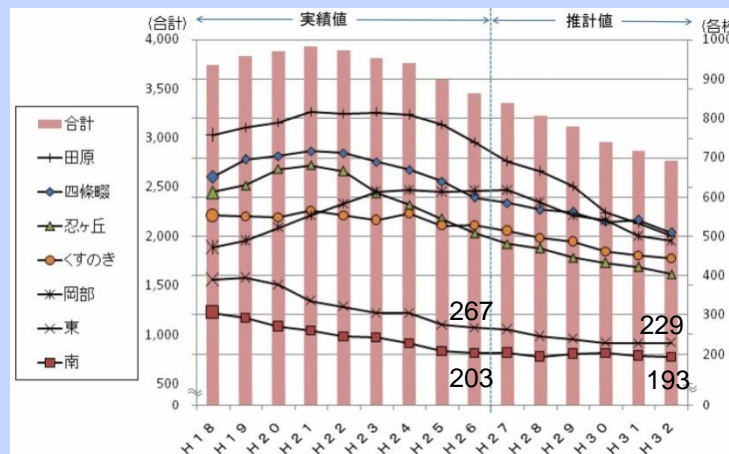
- ・児童数は継続的に減少する見込みのため、1校減らしても複数学級を維持することに限界があります。
- ・昭和40～50年代に建設した校舎がすでに老朽化しており、一世代先(30年程度)を考えるとこのままの学校数を維持し続けることは困難な状況です。



<外壁のはく離>



<暗く臭いが残るトイレ>



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

## ③ 学校再編の校区割について(その1)

### 【意見】

・通学距離が長すぎる。校区割の見直し、または校区選択できるようにしてほしい。



### <市としての考え方>

#### ◎校区割案は以下の観点から作成しています。

・通学路の安全を大前提とし、地域活動のベースとなる地区のなりたちを重視し、同一小学校から同じ中学校へ就学することができる校区割案を考えました。

**安全な通学路**  
 鉄道や大規模幹線道路の状況を踏まえ、安全を重視した校区割・学校再配置を考える。

(原則)国道163号とJR線を校区の境界線とする

**地域活動を重視**  
 (例外)自治会が国道163号・JR線に跨る場合、自治会の単位を優先

<国道163号を横断する地区>  
 ①東中野 → 忍ヶ丘小学校へ

<JRに隣接又は横断する地区>  
 ②中野新町 } 新小学校へ  
 ③塚米 }  
 ④楠公 }

**2小学校から1中学校に進学**

|        |         |
|--------|---------|
| 忍ヶ丘小学校 | 岡部小学校   |
| 新小学校   | くすのき小学校 |
| ↓ 進学   |         |
| 四條畷中学校 | 四條畷西中学校 |

## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

### ③ 学校再編の校区割について(その2)

#### 【意見】

・通学距離が長すぎる。校区割の見直し、または校区選択できるようにしてほしい。

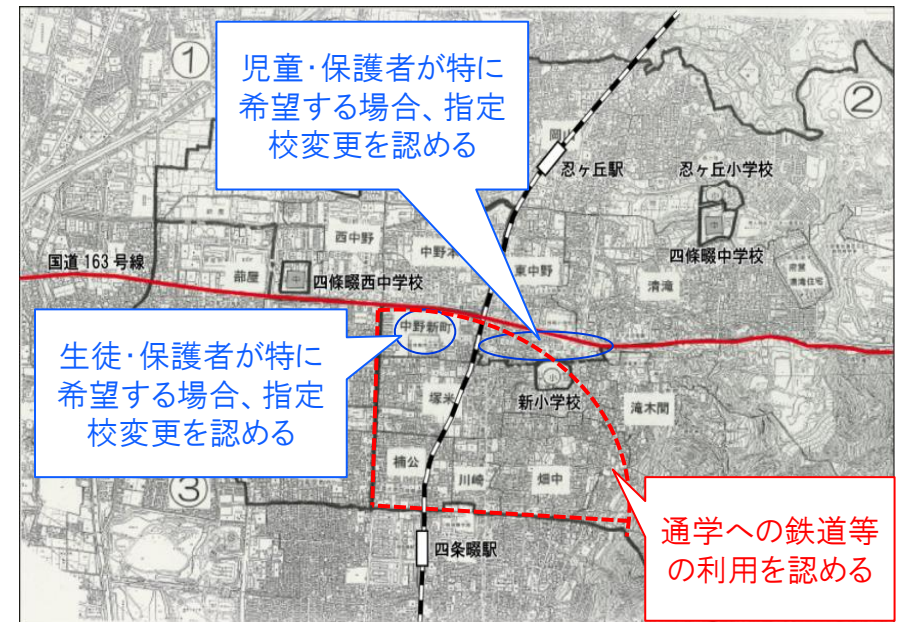
#### <市としての考え方>

#### ◎中学校区の通学距離対策を講じます。

- ・再編後の四條畷中学校区のうち、中野新町、塚米、楠公、川崎、畑中、滝木間の各地区については、通学距離が長くなるため、鉄道等の利用を認めます。
- ・中野新町地区については、四條畷西中学校への指定校変更を認めます。

#### ◎小学校区の通学距離対策を講じます。

- ・再編後の忍ヶ丘小学校区のうち、中野1丁目、中野2丁目の各地区については、新小学校への指定校変更を認めます。



## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

### ④学校転籍の進め方について(その1)

#### 【意見】

- ・四條畷南中学校の廃校により、中学3年生で転籍する生徒の負担が大きい。



#### <市としての考え方>

#### ◎中学校区再編の時期を平成30年4月に変更します。

- ・校区再編の決定から開始までの準備期間と、児童・生徒への周知期間を確保するため、当初案の平成29年4月から、1年延期します。

|         | H26年度<br>(2014) | H27年度<br>(2015) | H28年度<br>(2016) | H29年度<br>(2017) | H30年度<br>(2018) |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 四條畷中学校  | 改修方針・<br>内容決定   | 統合準備・設計・改修工事    |                 |                 | 新校区での<br>学校運営   |
| 四條畷西中学校 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 四條畷南中学校 |                 |                 |                 |                 | 廃校              |

## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

### ④ 学校転籍の進め方について(その2)

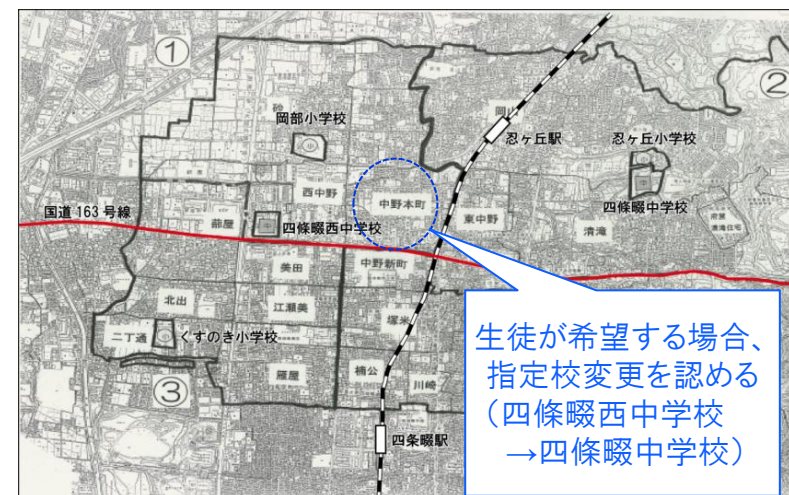
#### 【意見】

- ・四條畷南中学校の廃校により、中学3年生で転籍する生徒の負担が大きい。

#### <市としての考え方>

### ◎校区再編の時期に中学3年に進級する生徒に配慮します。

- ・平成30年4月に、3学年とも一斉に新しい指定校へ転籍することを想定しています。  
特に、校区再編の時期に中学3年に進級する生徒(現在の小学校5年生)の不安軽減のために、事前より綿密な交流や連携を行い、スムーズな転籍をめざします。
- ・再編後の四條畷西中学校区のうち、中野本町地区については、四條畷中学校への指定校変更を認めます。(平成30年度の中学校3年生に限った措置)





## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

### ④ 学校転籍の進め方について(参考)

#### 【意見】

- ・四條畷南中学校の廃校により、中学3年生で転籍する生徒の負担が大きい。

#### <転籍の考え方の整理>

|       | 学年進行方式  | 全学年一斉方式  |
|-------|---|--|
| メリット  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在校生は転籍とならないため、校区再編に伴う児童・生徒、保護者の負担が軽減</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・転籍の前後で、生徒数の増減に左右されず、一定の教育活動の内容が担保される</li> <li>・再編区域で一時期に転籍することで、コミュニティとしてのまとまりを維持しやすい</li> <li>・全学年の転籍が一時に行われ、課題解消に要する期間が短い</li> </ul>               |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年が転籍するのに一定の時間がかかる</li> <li>・その期間、新入生が入ってこない学校の小規模校の状況が進行する</li> <li>・異学年交流など多彩な教育活動や組織的なクラブ活動ができない</li> <li>・兄姉と弟妹の就学先が異なる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業までの途中の年度で学校を転籍する児童・生徒、保護者の環境変化による影響が大きい</li> <li>○友人関係などの再構築</li> <li>○義務教育段階での異学年交流やクラブ活動の重要性</li> <li>○転籍による心理的不安</li> <li>○保護者の負担や不安</li> </ul> |

十分な事前準備や指定校変更などの柔軟な措置を講じます

## ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

### ⑤ 通学路の安全対策について

#### 【意見】

- ・歩道が狭いところや、特に夕方の下校時間に暗く、危険な箇所がある。

#### ＜市としての考え方＞

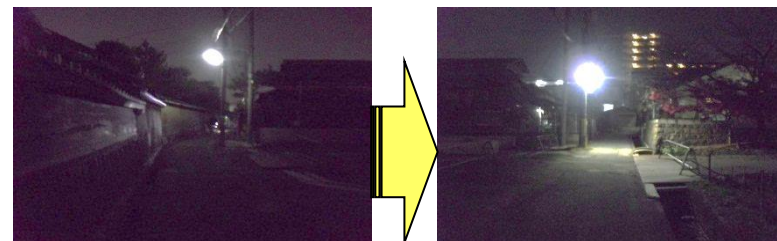
#### ◎通学路の調査及び安全対策を検討します。

- ・ 現行の通学路と、現時点で想定している校区再編後の通学路の状況把握を行い、安全な通学路の選定を行います。(今後、学校との協議を進めます。)
- ・ 選定された通学路において、必要な安全対策を検討します。(以下は、検討案の一例です。)

① 既存の防犯灯を、従来のものより明るいLED灯に更新するとともに、必要な箇所への増設等の検討を行います。

② 道路構造上、危険な箇所について、整備を行うほか、交通安全上、危険な箇所には、人的配置を検討します。

※ 既存防犯灯のLED化は、既に整備を始めています。《通常の防犯灯》



《LED灯》

# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

## ⑥ 学校再編による財政への影響

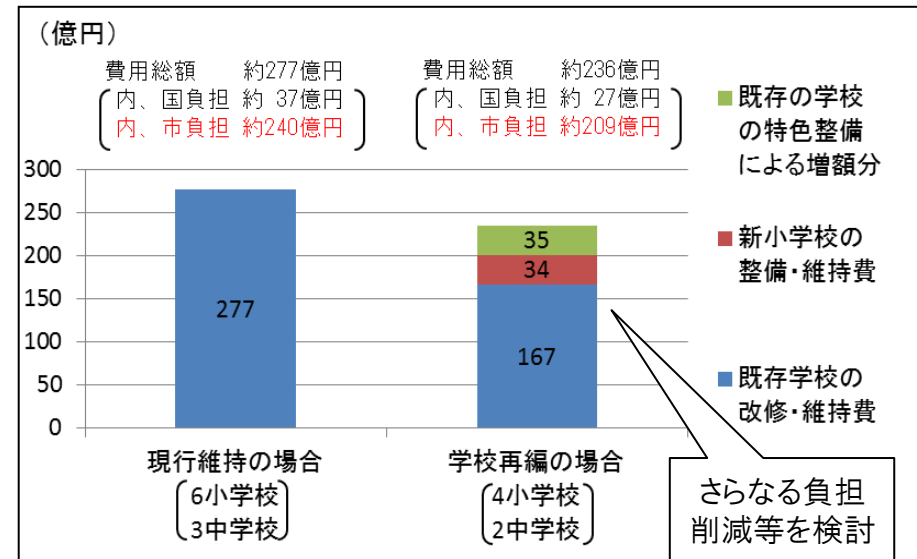
### 【意見】

・学校を減らしても、新小学校の整備により、費用が増加するのではないか。

### ＜市としての考え方＞

- ◎学校再編により、学校施設の維持に要する費用は大きく削減される見込みです。
- ◎今後20年間に市が負担する費用では約31億円の削減とすることが見込まれます。
- ◎さらに、PFI手法等、公民連携手法を導入することで、さらなる費用の圧縮が可能となります。
- ◎また、廃校跡地の活用による収入が見込め、従来の方式ではできない質の高い教育環境整備が可能となります。

西部地域の小中学校における今後20年間の費用比較  
 ＜H26.11.27時点算出＞



# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

## 【参考】 教育施設別検討方針(案)

**全校共通** ➤ 防災拠点としての整備、ICT環境の充実、屋上緑化・太陽光発電設備、教室の空調設置

防災設備



災害対策給水栓



マンホールトイレ



かまどベンチ



体育館に多目的トイレ、更衣室を整備



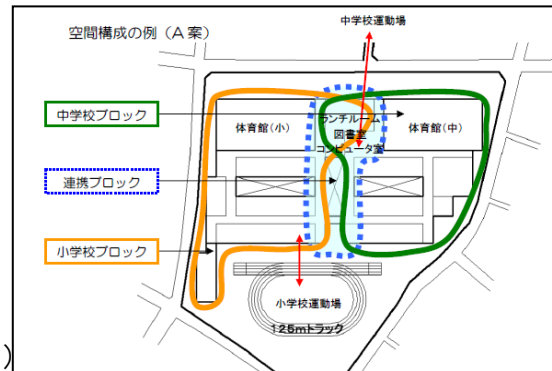
エコスクール例

**忍ヶ丘小学校** ➤ 校舎・体育館・プールの老朽化対策  
➤ 小中連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペース

**四條畷中学校** ➤ 技術棟撤去及び地盤沈下対策  
➤ 小中連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペース



(例:池袋本町地区校舎併設型小中連携校 イメージ図)



小・中の職員室の連結箇所

児童・生徒のエリアの限定



(例:東京都北区立王子小・王子桜中)

# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

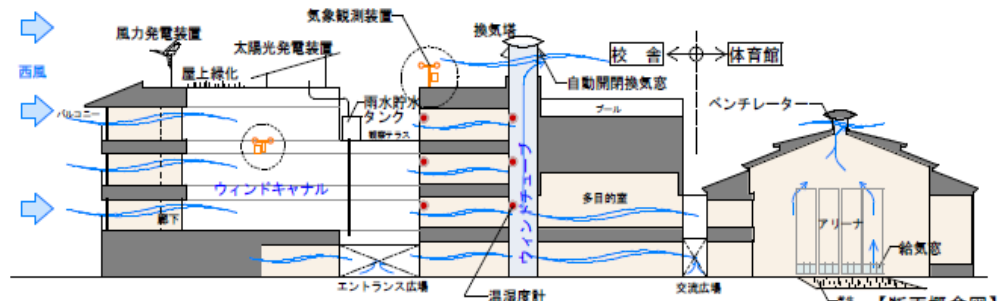
短期

## 【参考】 教育施設別検討方針(案)

|                |   |
|----------------|---|
| <p>くすのき小学校</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ プールの老朽化対策</li> <li>➤ カフェの併設など、地域の活動拠点ともなる地域に開かれた学校図書館</li> </ul>   |
| <p>四條畷西中学校</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 国道163・170号による騒音・粉じん対策のための環境に配慮した校舎配置</li> <li>➤ 体育館の老朽化対策</li> <li>➤ 市民も利用可能で、分散型エネルギーを活用した屋内温水プールの整備</li> </ul> |



開放感のある地域に開かれた学校図書館



自然通風換気システムの取り入れ(例:門真はずはな中学校) 【断面概念図】



学校図書館に併設されたラウンジ(例:下関市立豊北中学校)



屋内温水プール(例:杉並第十小学校)

# ご意見に対する市の考え方 (I. 小中学校の再編について)

短期

【参考】 統合により  
充実するソフト面の例



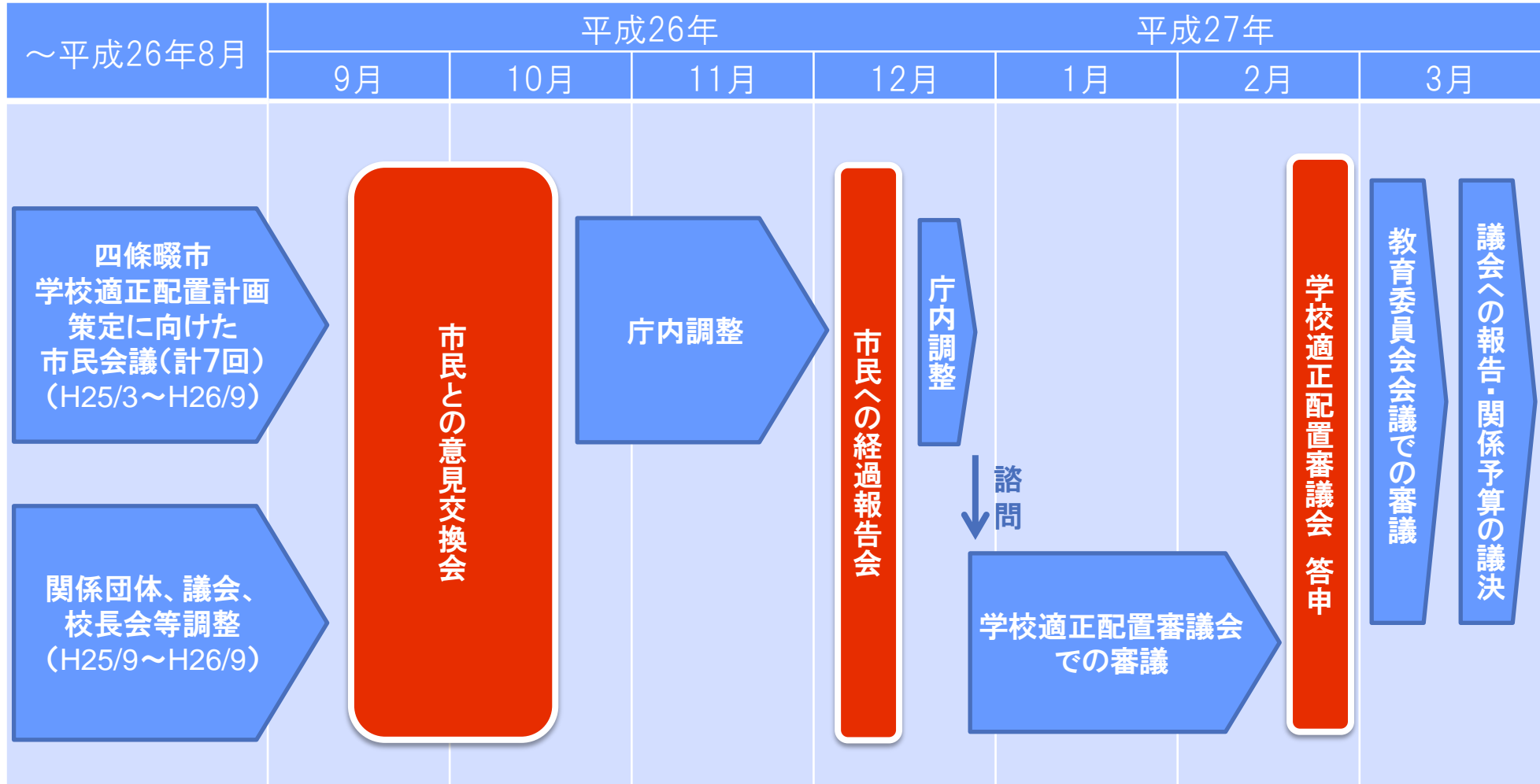
# 短期スケジュール

短期

|         | H26年度<br>(2014) | H27年度<br>(2015) | H28年度<br>(2016) | H29年度<br>(2017) | H30年度<br>(2018) | H31年度<br>(2019) | H32年度<br>(2020) |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 四條畷中学校  | 改修方針・<br>内容決定   | 統合準備・設計・改修工事    |                 |                 | 新校区での学校運営       |                 |                 |
| 四條畷西中学校 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 四條畷南中学校 |                 |                 |                 |                 | 廃校              |                 |                 |
| 新小学校    |                 |                 |                 | 設計・整備           |                 |                 | 開校              |
| 忍ヶ丘小学校  | 改修方針・内容決定       |                 | 設計・改修工事         |                 |                 |                 | 新校区での<br>学校運営   |
| くすのき小学校 | 改修方針・内容決定       |                 | 設計・改修工事         |                 |                 |                 |                 |
| 岡部小学校   | 改修工事            |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 四條畷小学校  | トイレ改修           |                 |                 |                 |                 |                 | 廃校              |
| 四條畷東小学校 | トイレ改修           |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 四條畷南小学校 | トイレ改修           |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 田原小学校   | トイレ改修           |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 田原中学校   |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |

# 教育環境整備計画策定に向けた今後のスケジュール

短期





## ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

### ① 公共施設再編の是非

#### 【意見】

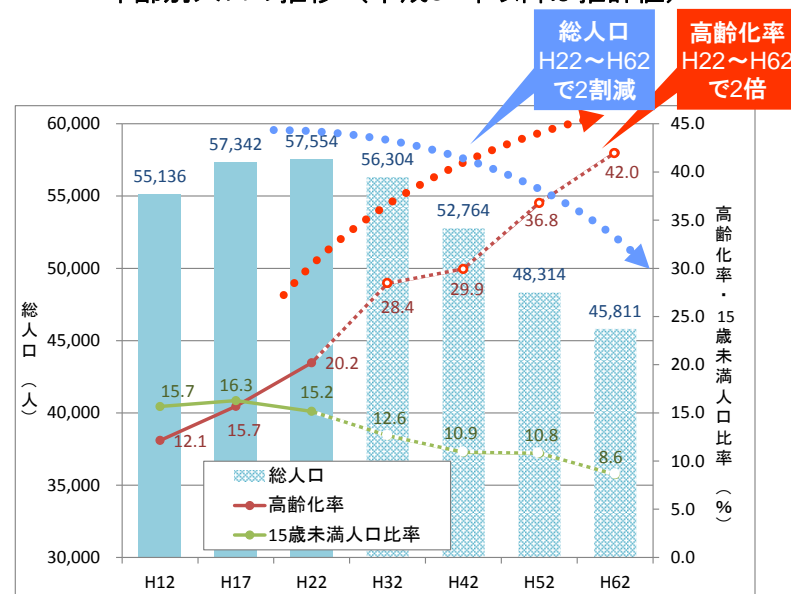
- ・公共施設を再編する必要性は。

#### <市としての考え方>

### ◎公共施設再編は将来を見据えた 施設管理対策

- ・多くの公共施設の更新時期が迫っていることから、近い将来、同時期での建替えが必要になります。
- ・人口が減少するなか、各施設の利用需要、市民ニーズの変化等、いずれ規模の適正化が求められてきます。
- ・対策を講じなければ、現状規模を前提とした非効率な施設管理が続くこととなります。

年齢別人口の推移 (平成32年以降は推計値)





# ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

## 【参考】 公共施設集約化イメージ(案)

●現市民総合センター用地  
(市役所機能を有した施設)

●現四條畷小学校用地  
(福祉・教育総合施設)

地域交流とコミュニティ空間

くらし

- ・市役所庁舎
- ・シルバー人材センター
- ・社会福祉協議会
- ・商工会

社会情勢や市民ニーズに対応した公共施設の再構築  
(教育センター・福祉の空間づくりなど)

保健・医療

- ・保健センター
- ・休日診療所

- ・市民活動センター
- ・楠風荘
- ・福祉コミュニティセンター等

学びと文化

- ・市民総合センター
- ・教育文化センター
- ・公民館、図書館

～地域のスポーツ振興、防災拠点となる体育館は存続～

## ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

### ② 西部地域の地域構造の是非

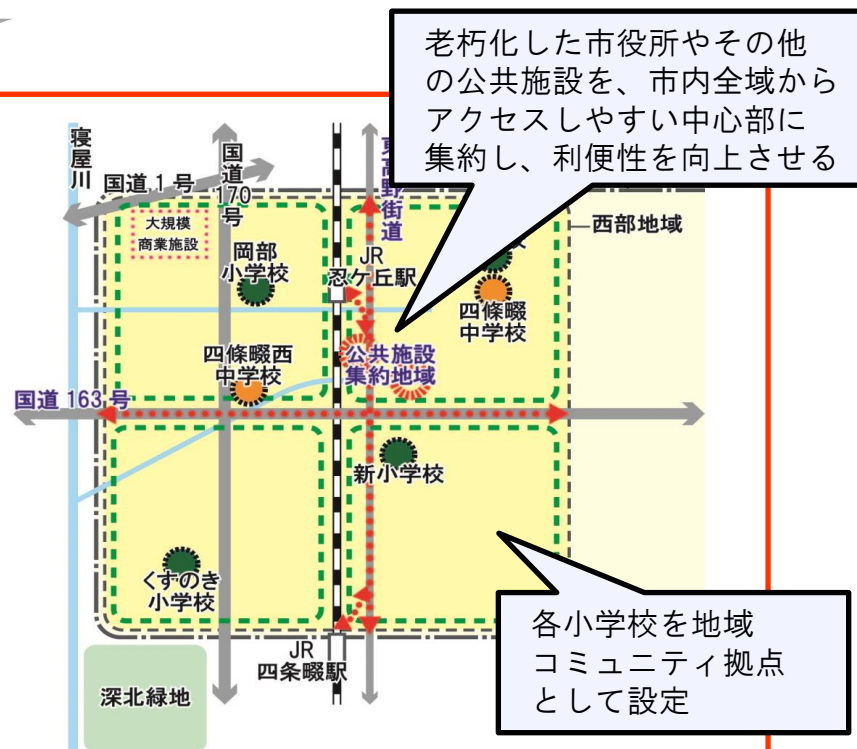
#### 【意見】

・4つの地域に分ける意図と公共施設を中心部に集約する必要性は。

#### <市としての考え方>

◎地域コミュニティの拠点は各地区にあることが望ましく、各小学校を地域コミュニティ拠点とするのが適切と考えます。

◎西部地域の公共施設を中心部に集約することにより、複合化の利便性を享受できます。



## ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

### ③ 東部地域(田原地区)について

#### 【意見】

- ・東部地域(田原地区)についての考え方は。

#### <市としての考え方>

- ◎公共施設の集約は、東部地域の住民方々にとっても交通アクセスを含めた利便性の向上につながります。
- ◎田原処理場等を含む東部地域のまちづくりについては、中期の取組みの中で検討していきます。
- ◎田原小学校及び田原中学校については、小中連携・一貫教育に向けた整備を検討します。



## ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

### ④ 施設再編の具体的手法

#### 【意見】

- ・施設再編にあたり、高機能化とコスト削減をどのように実現するのか。

#### <市としての考え方>

#### ◎複合化による利便性の向上

- ・1カ所で複数の公共サービスが受けられます。(ワンストップ化)
- ・民間サービスを含めた複合化の可能性が生まれます。  
(例 公共施設+カフェ・コンビニなど)

#### ◎共同化による効率性の向上

- ・会議室など汎用的な機能が共同で利用できます。

#### ◎民間事業者への土地貸付・売却等

- ・イニシャルコスト、ランニングコストの削減、充実に繋がります。



【参考事例】 神奈川県茅ヶ崎市

(公共施設と民間施設の複合施設)

公共施設 : 行政窓口センター、保育園、図書コーナー、  
地域包括支援センター、ボランティアセンター、  
多目的スペース

民間施設 : 郵便局、医療施設、調剤薬局、訪問介護、  
カフェ、コンビニ等

## ご意見に対する市の考え方 (Ⅱ. 主な公共施設の再編)

中期

### ⑤ 市民の意見の反映

#### 【意見】

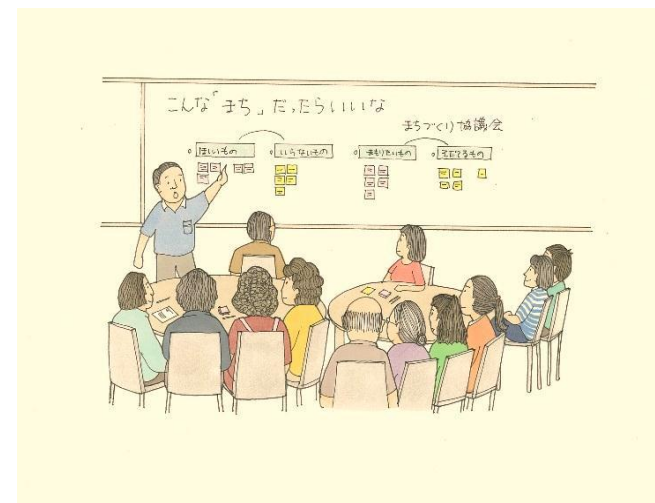
- ・公共施設の再編にあたり、市民の意見はどのように反映されるのか。



#### <市としての考え方>

#### ◎まちづくり長期計画の具体化に向けたワークショップ

- ・公共施設の再編による、施設配置、機能、余剰用地の取扱い等、具体的な内容については、市民参画を前提に検討していきます。
- ・検討にあたっては、本市のまちづくりの方向性や市民の必要性・利便性・快適性のほか、国の補助制度や社会経済情勢などを踏まえ、具体的な事項を決定していきます。



# 中期計画に向けたスケジュール（主な公共施設の再編）

中期

